

常任委員会の審査報告

総務常任委員会

二本松市一般会計補正予算について

問 名目津温泉の湯量は、震災により減少しており、必要な湯量を確保するために、今回の補正予算でボーリング調査等を行うと説明されたが、各種申請手数料や申請書作成委託料とはどのような経費か。

答 温泉を掘削する場合は、必ず福島県自然環境保全審議会温泉部会に申請手続きを行い、許可を得なければならない。

今回の補正予算では、ボーリング調査等の経費に加え、それに伴う申請手数料と申請書の作成を委託する経費を計上したもので、初めて掘削する時と同じ手続きが必要である。



名目津温泉の源泉調査等の説明を受ける様子

市民産業常任委員会

二本松市一般会計補正予算について

問 健康づくり推進事業のホールボディカウンターの整備について、弘前病院から無償で機器の提供を受け、旧保健所に設置するとのことであるが、その経緯と機器の状態および旧保健所の修繕の程度はどのようになるか。

答 経緯については、前回の内部被ばく先行調査の関係で市民がさらなる実施を希望している意向を内部被ばく調査専門家チームの医師へ伝えていたことから、独立行政法人国立病院機構弘前病院を紹介された。状態としては、東海村JCO臨界事故を受け、平成12年に国策として配備されたものである。また、旧保健所の2階レントゲン室に配置を予定しており、修繕については壁紙の張替え、空調設備の更新などを考えている。

問 放射能汚染対策事業の民間住宅除染業務委託について、方法として、庭の表土除去、屋根、外壁、雨どい、犬走りの除染等で1軒100万円の経費を見込んでいるとのことであるが、この方法はある程度の効果が実

証されている。実証実験であれば既存技術のコスト削減等を目的に行うべきである。

答 民間住宅除染業務については比較的放射線量が高い地区の家屋、とりあえず2軒をモデルとして安価でかつ効率的な手法を検討し、今後の除染活動に活用したい。



現地調査(用水路災害復旧(渋川字大黒地内))の様子

9月12日に付託された各議案は、9月15日～16日にかけて、各常任委員会で詳細な審査が行われ、最終日28日の本会議で、各常任委員長から審査の経過と結果が報告されました。各常任委員長から報告された審査の主な状況をお知らせします。

建設水道常任委員会

二本松市一般会計補正予算について

問 岳下小学校正門前の道路改良について、当初、教育費で予算計上していたものを、今回土木費に振り替えることになった経緯は。

答 大型バスを利用する際の児童の安全を確保するため、当初、教育費の予算で、国道459号沿いの北消防署入り口付近を拡幅し、バス待避所を設置する予定であったが、最近になって、岳下小学校正門前の道路である市道大壇4号線沿いに、拡幅に必要な道路用地の取得見通しがついたことにより、当該道路を一般市道整備事業で整備するものである。

問 下水道汚泥を仮置きするために、1tごとに収納する袋1枚あたりの単価はいくらか。

答 液体汚染物を保管する袋で、気密性が高く臭気を抑えることができるとともに、紫外線に強く耐久性もあり、ま

た、コーティングとしてアルミを蒸着し、放射線拡散の抑制効果もある袋で、1枚あたりの単価は、22,050円である。



大壇4号線道路改良工事の説明を受ける様子

文教福祉常任委員会

二本松市一般会計補正予算について

問 遺族会運営費補助金について、その積算根拠はどのようになっているか。

答 東日本大震災で被災した忠魂碑を修繕する遺族会に対して、県の遺族会から修繕費50万円を限度に45%の補助金が支給されるため、その残額相当を市で補助するものである。

問 福祉施設整備において、地域密着型サービス事業はどのような経緯で中止になったのか。

答 小規模多機能型居宅介護と認知症対応型デイサービスの事業所を平成24年1月に開所予定していた医療法人から、東日本大震災により法人全体で甚大な被害を受け、事業計画全般の見直しが必要となったため、当市での事業を中止したい旨の申し出が

あったものである。



机上審査の様子